

# 絆～きずな～

# 第6号

6月2日(火)

向陽中学校 Tel. 35-2348

## 楽しいSNSにひそむ危険… SNSで知り合った人とトラブルに!

だまそうととする人は本当の自分を絶対見せない

友達のおしゃべりから、好きなタレントや趣味が同じ人との情報交換まで、インターネットでさまざまなコミュニケーションができるSNS。スマートフォンの登場で、より手軽になり楽しさが増えた反面、危険やトラブルも多くなりました。

他人の写真やウソのプロフィールを使っている人を、やりとりの中だけで見抜くことは大人でも無理です。実際、相手から近づいてきたり、自分から出会いを求めたりして「いい人の仮面をかぶった悪い人」と知り合ってしまう、個人情報や写真を送ったり、直接会いに行ったりしたためにトラブルに巻き込ま

### 思いがけない危険 SNS利用に注意



れた子供は、年間1000人を超えています。特に平成25年上半年以降、無料通話アプリのIDを交換する掲示板により知り合い、犯罪被害を受けた児童が増加しています。

警察がインターネット上の書き込みをチェックし、子供に指導する「サイバー補導」も行われていますが、何よりも大切なのは、利用する本人がSNSの提供するサービスや仕組みをよく理解し、考えて利用することです。皆さんも日頃の使い方を見直し、危険なところはすぐに改めましょう。

# ハマり過ぎに注意! 「ネット依存外来の受診者が急増」

自分はインターネットをやめようと思ってもやめられない。——こんなふうに感じたことはありませんか？

大人がお酒やタバコへの依存をやめるために病院に通うことは昔からありましたが、最近は、インターネットの利用を自分の気持ちで止めることが出来ないいわゆる「ネット依存」で体調をくずし、学校に行けなくなり、医師に助けを求める青少年が急増しているようです。

日本で数少ないネット依存の治療を行っている「久里浜医療センター」によると、平成23年度の開設以降、患者は増える一方のことです。

ルールを作って  
依存を防ごう!



これまで多かったパソコンのオンラインゲームで依存になるケースに加え、最近ではスマートフォンやインターネットのめりこみ、歩きながらや布団の中でも手放せない人が多くなっているようです。

現時点でネット依存には特効薬のようなものは無く、治療法もまだ確立されていないことから、一度なってしまうと、普通の生活を取り戻すまでに、とても長い時間の努力を必要とします。

依存にならないためには、インターネット利用のルールをつくって、守りながら使うなど「日ごろから「予防」を心がけ規則正しい生活を送ることが大切です。

◆文部科学省発行の『ケータイ・スマホ新聞』からの記事です。学校の方でも、携帯やラインなどの使用につきましては、何回も指導をしています。今、どの学校でもトラブルがあるようです。家庭でお持ちの方は、お子さんとじっくりと使用の仕方について、話し合ってもらいたいと思います。また、使用につきましては、お子さんとの約束事を作ることも大切です!!